

## 由来

御八日踊りは、永禄8年（1565年）3月野田領主島津忠兼が、城川内の堂崎城主天草越前正を攻め滅ぼし、島津領としましたが、甥の出水領主島津義虎に同年旧7月8日、出水城で謀殺されました。その後、長島全土に悪疫が流行したため、島民はこれを忠兼のたたりとして、その霊を慰めるために、若宮神社に忠兼の御霊を祀り、毎年旧暦7月8日に大祭をして、踊りを奉納することになりました。その後生活改善などの理由で、新暦の8月8日に奉納されるようになりました。



↑ 鉦踊り（蔵之元郷土芸能伝承部会）



← 鉦踊り（川床鉦踊り保存会）

# 伝統は引き継がれる

# 御八日踊り



← 鉦踊り（城川内郷土芸能保存会）